

# **JSBBA KANTO**

## **公益社団法人日本農芸化学会**

### **2025 年度 関東支部例会**

報告者：川出 洋(東京農工大学大学院農学研究院) / 令和 7 年 11 月 25 日

令和 7 年 11 月 1 日（土曜日）、東京農工大学農学部府中キャンパスにおいて 2025 年度関東支部例会が開催されました。前日の雨が見事に晴れ、70 名（一般 33 名、学生 37 名）という多くの方々（事前登録者数：80 名）にご参加いただきました。

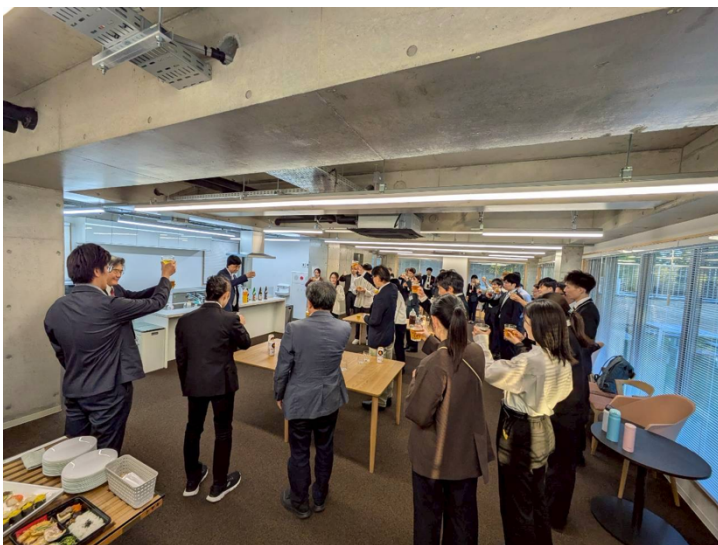
10 時 00 分から竹中麻子関東支部長の開会の辞があり、そのあとに竹中支部長の座長のもとで [セッション 1] として本年度の農芸化学奨励賞受賞者の講演をしていただきました。最初の演者は理化学研究所の千葉洋子先生で、新たな代謝酵素の性質をミカエリス–メンテンの式で得られる、誰もが知る酵素反応パラメータに生化学と物理化学の知見を融合して新たな理論を導く過程を発表されました。筑波大の土肥裕希先生は、身近に生息する環境細菌類からユニークな代謝酵素の数々を発見し、特徴付けされた講演をしていただきました。特に複素環式化合物の分解に関する分解酵素を土壌細菌から見つけ、モンシロチョウの翅の色素分解に関わる発見は大きなインパクトを与えました。帝京大学の宮本皓司先生は、イネのファイトアレキシン生産の誘導を引き起こすメカニズムをジャスモン酸の受容から転写因子による制御、さらにはイネ属のファイトアレキシン生合成の進化の軌跡まで踏み込んで研究を展開されていました。奨励賞受賞者講演の最後にご登壇いただいた東京農大の若森晋之助先生は、立体構造や空間的な原子配置に着目した複雑精緻な複素環構造を有する化合物の合成と生物活性についてご講演いただきました。空間が制御された植物エラジタンニン類の合成反応が、その生産植物において生合成にも関わっていることなどを説明され、どれも迫力がある一連の奨励賞受賞者講演の締めくりにふさわしいお話をしてくださいました。

お昼の休憩前に【セッション2】として本年度トピックス賞受賞講演に移り、午前中に2つの講演、午後は臼井健郎副支部長の座長進行のもとで8つの講演をプログラムしました。トピックス賞は、当年3月に開催された2025年度札幌大会で1700演題超の一般講演の中から30件のトピックス賞が選ばれていますが、関東支部所属会員の受賞者は15件となりました。そのうち中から10演題をご講演いただきました（直前の講演中



止1題をはじめ、欠席は合計5演題）。札幌大会ではポスター発表でしたので、支部例会では受賞講演は口頭発表ということで、注目を浴びる研究成果の発表にふさわしい、すべての講演者が力の入った講演を提供してくださいました。トピックス賞の講演では質疑応答の時間も設けてありましたので、活発な質問が全演題で行われました。最後に、【セッション3】として若手女性研究者賞受賞者の永島鮎美先生の受賞者講演を行いました。揮発性物質の話題は今年度のノーベル化学賞でも注目を集めました。支部例会でも揮発性物質に関する研究内容はトピックス賞でも話題となり、その締めくくりとして永島先生の動物や植物における匂いの分子・揮発性物質の受容機構のお話は非常に盛り上がり、当初質疑応答の時間は設けていませんでしたが急きょ質問を受け、盛会のうちに講演の部を終了させることができました。

臼井副支部長の閉会の辞の後、会場を移動して懇親会が行われました。会場は東京農工大農工



大キャンパスに今年4月にオープンした西東京国際イノベーション共創拠点／邂逅館（かいこうかん）3階のラウンジで行いました。16:20という少し早い時間の開始でしたが、冒頭に東京農工大学学長の千葉一裕先生（日本農芸化学会正会員）のご挨拶と乾杯のご発声で交流が始まりました。ケータリングは拠点内の農食レストランをお願いをし、「ファームトゥテーブル」をコンセプトとしたメニューを提供してもらいました。

途中締め挨拶がありましたが、最終的には 19:30 まで交流が続き、講演の部と交流の部の両方に活発な交流が繰り広げられました。

今回は、東京農工大学の学生の参加が非常に多く、学部 2 年生や 3 年生大学院生の参加登録が多かったのが大きな特徴でした。本学の農芸化学分野の本体にあたる応用生物科学科の学生だけではなく生物生産学科からの学生の参加があり、このような多くの意欲的な学生たちに農芸化学の魅力とおもしろさを伝えられる場となったのが最大の収穫だったと思います。トピックス賞は当年の注目される一般講演に授与される賞ですので、その話題性や研究と新技術の魅力は若い人や学生たちにも良く伝わるのだと思います。

最後に、関東支部役員のみなさま、支部例会開催に際して惜しみないご協力をいただきました、本学応用生物科学科の岡田洋平教授、田中瑞己准教授、ならびに生物制御化学研究室、生物有機化学研究室、遺伝子機能制御学研究室に所属の学生諸君に御礼申し上げます。